

各 位

不動産投資信託証券発行者名
東京都千代田区神田錦町一丁目 2 番地 1
イオンリート投資法人
代表者名 執 行 役 員 塩 崎 康 男
(コード : 3292)

資産運用会社名
イオン・リートマネジメント株式会社
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 塩 崎 康 男
問合せ先 専務取締役兼財務企画部長 塚 原 啓 仁
(TEL. 03-5283-6360)

「平成 28 年熊本地震」の影響に関するお知らせ (第 8 報)
並びに災害損失引当金戻入益及び還付金 (特別利益) の発生のお知らせ

平成 28 年熊本地震により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

平成 29 年 2 月 23 日付「平成 28 年熊本地震」の影響に関するお知らせ (第 7 報) 及び西モール営業再開時期のお知らせのとおり、イオンリート投資法人 (以下「本投資法人」といいます。) の保有するイオンモール熊本の西モールが平成 29 年 3 月 24 日に営業を再開し、これにより復旧工事はすべて完了しました。図式いたしますと、次ページ概念図のとおりです。

この度、イオンモール熊本の復旧に伴い工事費用が当初想定より減額となる見込みであること及び平成 28 年度の固定資産税の減免により、特別利益として、災害損失引当金戻入金及び還付金 (以下「災害損失引当金戻入益等」といいます。) が発生することが判明したため、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 災害損失引当金戻入益等 (特別利益) の発生について

平成 28 年 9 月 14 日付「平成 28 年熊本地震」の影響に関するお知らせ (第 6 報) 並びに第 7 期運用状況の確定及び損失の一部の出資総額等からの控除に関するお知らせにて公表のとおり、本投資法人は、熊本地震による被害の原状回復費用を合理的に見積もった金額として災害損失引当金繰入額 3,755 百万円を平成 28 年 7 月期 (第 7 期) に計上しておりました。

この度のイオンモール熊本の復旧工事完了に伴い費用を精査した結果、西モールの地盤改良杭補強工事費が当初想定より低額にて完工できましたことが主要因となり、復旧工事費用が約 500 百万円の減額となる見込みであることが判明しました。なお、復旧工事費用はサブ核ゾーンの解体工事が完了する平成 29 年 7 月末頃に確定の見込みです。

また、復旧工事費用の減額と併せて、イオンモール熊本に係る平成 28 年度固定資産税について、熊本地震による減免により約 37 百万円が還付されたことに伴い、平成 29 年 7 月期 (第 9 期) 決算において、復旧工事費用の減額分及び固定資産税の減免額の合計額約 537 百万円を災害損失引当金戻入益等 (特別利益) として計上する見込みです。

2. 今後の見通し

特別利益として計上する災害損失引当金戻入益等約 537 百万円については、中長期的な成長に向け、将来の安定的な運用及び分配のため法人税等の課税が生じない範囲において内部留保を予定していることから、平成 29 年 7 月期（第 9 期）及び平成 30 年 1 月期（第 10 期）の運用状況及び分配の見通しに与える影響は軽微であり、運用状況及び分配の見通しの予想について変更はありません。

なお、サブ核ゾーンについては取り壊しの上再築予定であり、再築プランが決まり次第お知らせいたします。

【イオンモール熊本復旧状況：概念図】



【イオンモール熊本写真】



以上

* 本投資法人のホームページアドレス：<http://www.aeon-jreit.co.jp/>